

刊夕日十月一十



日刊 昭和十四年十月十一日
第一七七二第
発行所 石城郡新聞社
編集者 半谷政喜
印刷所 石城郡新聞社
新刊 石城郡新聞

木炭の引上げ公定價

今日の委員会にて決定

昨日専門委員会に於ける成案

縣内需要の現行取引値

縣では木炭の需給増減に對する緩和策として去る六日中央委員会から發表された公定價格の引上げに準じ昨九日縣議會に専門委員会を開き縣内販賣價の原案が出来たので今日地方物價委員会に諮り正式に決定されることになつたが次へで需給調整機關として本縣木炭統制協議會案も諮問される筈である、公定價格の専門委員会案は縣下四ヶ市は一俵に付て一律に四錢高率公會へ寄附す

▲白炭(十五キロ俵)		▲黒炭(十五キロ俵)	
丸	二二	丸	二二
割	二一	割	二一
丸	二〇	丸	二〇
割	一九	割	一九
丸	一八	丸	一八
割	一七	割	一七
丸	一六	丸	一六
割	一五	割	一五
丸	一四	丸	一四
割	一三	割	一三
丸	一二	丸	一二
割	一一	割	一一
丸	一〇	丸	一〇
割	〇九	割	〇九
丸	〇八	丸	〇八
割	〇七	割	〇七
丸	〇六	丸	〇六
割	〇五	割	〇五
丸	〇四	丸	〇四
割	〇三	割	〇三
丸	〇二	丸	〇二
割	〇一	割	〇一

道路工夫に困つて

制限年齢の暗取引

土木監督所悲鳴を上げる

平土木監督所に於ける道路工事は最小限に於て三十名を以て常備夫三十名を要するのであるが物價高の現況により四圍の勞働が上つてゐるに拘はらず定められた豫算の範圍外に動きのつかぬ官廳のことに、現在の最高一圓二十錢、最低九十五錢、平均一圓以上は、どうにもならぬ結果昨年來の

平土木の

災害査定

平土木監督所管下に於ける災害復舊費は既報の如く二十萬圓を申請されてゐるが右に對する査定に内務省から砂治土木技手出張の筈であつた同査定官は大庭技手に代り今日午後一時二十三分植田縣署、縣土木課の金澤技師、鈴木技手及び須藤平土木所長等と較川、小名後を見て湯泊、明十一日新川、夏井川、四倉から富岡土木監督所管内を調査

支那軍

准尉は准尉官と稱へてチオンウエイクワン、曹長を上士と稱してシヤンシー、軍曹は中士でシヤンシー、伍長は下士でシヤンシー、上等兵は同じく上等兵だがシヤントンビンと呼ぶ

戦死傷者

石城出身二勇士
石城郡山田村出身、佐藤(謙)部隊に屬し中支〇〇戰團に於て右肩脚部貫通銃創を受けた同君の家庭には父亡く母あきさん(尚)妹ちよの(三)てる子さん(二)ひやく(九)さん弟貞君(三)があり農業を營んでゐる

保己一の遺族

石城郡勿來町の西殿町堀五郎氏は檢校保己一の四代の子に當り會て平市警備隊の記念日に招待を受け記念品を贈られてゐるが来る十五日から開かれる信夫農學學校創立三十年記念展覧會に檢校の遺品五點を出品される同出品は保己一が江戸へ究學の爲め向ふ時に背負つた笈、正四位を贈られた御墨付、檢校の遺像その他である

警中優等生

植田町の二君
石城郡植田町の金畑土木請負業成瀬巴三氏長男大介(七)君

陸士にパス

野君は四才の時両親を失ひ叔父に當る同町矢部清松さんに接し同町はじめての同校入(學)に引とられたもので矢部部さん方では我が子以上の喜びとなしてゐる

地主家賃の統制に

代賃審査會を組織

令の趣旨普及に努力
地代家賃統制令の趣旨普及に關し十一月一日午後一時から平署長等をこれに推し尙ほ幹事に社會、商工、保安各課長、縣社會事業主事、地方商工主事を、警備技師等をして同令の施行に遺憾なきを期することになつたが平市及び石城郡の同委員左記の如くである

戰地の便り

氣候風土に馴れ 戦は益々有利
双葉郡大久村出身 猪狩 菊正
拜啓、炎暑の候にも拘りませず益々教育報國に御盡力致し居られること、推察深く感謝致して居ります、先日は温き御心盡しの慰問袋御送付下され有難う御座いました、久方ぶりに郷土の香りに接しました戦地では見事な出来なない煙管等まであり懐しく感じました、陣中を御慰勞愉快なる物品を入れて下されたるを感しく思へます、小生御陰様にて益々元氣一杯勤務に服し居ります、内地も相當の猛暑かと思ひます、當地中支方面は低氣壓の連續にて大陸

農産物品評會

郡市聯合の
平市公會堂で
毎年平市に於て開催されてゐる郡市聯合農産物品評會は来る十二月二十日午前平市公會堂で催す予定になつてゐるが右について来る十五日午前十時から臨時事務所市農會と郡農會の打合せを行ふ筈で尚本年は從來出品物の寄附を受けてゐた爲め見角優秀品の出陳を手控いられた嫌ひがあるもので副業品の如き十錢以上のものは全部出品者に返戻することにしたい心算である

野兎の競獵

植田狩獵會
石城郡植田町の狩獵會で来る十二月勿來町松岡屋旅館に於て總會を開き本年度野兎皮一千百三十枚の献納に關する申合せと優良會員の表彰式を舉ぐる筈だが同會に先立つて會員の競獵がある

半島人から盗む

石城郡内郷村の警備隊坑夫警備隊内郷町生れ内山太郎(三)は去る五日午前十一時頃同警備隊入口にある半島生れの坑夫林被服の皮箱一足價八圓を窃取して昨九日平署に檢學された

短刀所持の不良

窃盜を自白
石城郡植田町の人絹工場職工大和田勝美(三)は常に短刀を懐ろにし亂暴を働き不良の巾をきかしてゐるので去る八日植田署に檢取調べを受けたところ本月四日同工場から金屑五圓分を窃取せる泥を吐いた

文魁文堂

一本金五拾圓以上
シャープペンシル
品ホシエスを御指名願
上げます。
御進物としては立派な
化粧箱を用意して御座
います。

農業の発展

戦時下の食糧に 稗が一番

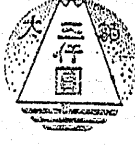
(下) 農林省増産に力贈
 稗常食は長命する
 ▲方市早生、出穂八月六日
 盛熟九月二日、草丈一九〇
 穂九、莖数三四本九、穂長
 一三、莖数二四本九、穂長
 一三、莖数二四本九、穂長
 一三、莖数二四本九、穂長
 ▲朝鮮、出穂八月十七日、成
 熟九月十七日、草丈一七五
 穂六、莖数二一本三、穂長
 二一、莖数二一本三、穂長
 一三、莖数二一本三、穂長
 ▲二子餅、出穂八月十九日
 成熟九月廿三日、草丈一七
 三、莖数二一本三、穂長
 二〇、莖数二一本三、穂長
 一三、莖数二一本三、穂長
 一三、莖数二一本三、穂長
 右の如くであつて稗が養分的
 に見て米に劣らぬものである
 ことは陸軍関係者や糧友會な
 どで既に認めてゐるところで
 私達はどうかしたら優良な品種
 を作り出せるか、また其の利
 用價值を大きくすることが出
 来るかを研究してゐる、品種
 と云つても稗の様に糯種の區
 別が判然せずたゞ飯に炊いて
 粘り多いのを糯としてゐるだ
 けで、また田稗と畑稗の區別
 も判然でない、概して立小路
 ヒエ、陸羽一號、同四號、黒
 ヒエ、二子餅などが收穫が多
 し、ヒエの利用は味噌として
 立派なものが出来、菓子にも
 なつてゐる、岩手縣の右衛門
 は現在でもヒエを常食として
 ゐるが大休一升の中に麥二、
 三合を入れてゐるもので調査
 によると此所の村民は休味の
 高から見て決して他より劣ら
 ず寧ろ勝つてゐる點があり概
 して長壽を保つてゐることだ

栽培は簡易で肥料も余りかゝ
 らず荒地でも利用出来るか
 ら學校の集團勤行などの目的
 に最も良いと同縣農試場では
 語つてゐる、(完り)

命の御用肉は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

「訂書は無盡で」

 無盡切札の今
 無盡切札の今
無盡城

内科、小兒科
大森醫院
 醫學士 大森 勇
 平市南町 電二五八番
 應入院
 需院

秋より冬にかけて 婦人洋品
 ショールと防寒具
 可愛い子供さんのお帽子とお洋服
 豊富陳列して御座います
ツルヤ
 平電140

安田系統の帝國海上
帝國保險株式會社
 海上火災
 平代理店 關内正
 事務取扱者 阿部助次郎
 平市二丁目 電話二六番

大小の御宴會にホール
 御家族の御同伴其他の
 御集ひに御座敷
 味覺實質 衛生萬點の **マルト食堂**
 平市四丁目(電話二二三番)

内科、小兒科 平市田町 電話五二三番
 外科、花柳科
 耳鼻咽喉科
 レントゲン科
高久病院
 院長 醫學士 高久忠

タバコをヤメルのに 不思議の妙藥
 確實に禁煙に成功の出来る
 禁煙 **ニコチロン** 一瓶を
 含嗽劑
 是非御使用を御勧め致します
 專賣店 漢方科 **山野邊藥局**
 勝藥の

類品洋とンバカ

眞砂屋 (前驛、市平、り通道新)
 (話電六) 屋砂眞

專門 皮膚科 泌尿器科 性病科
 診療時間 午前八時より 午後九時まで
江尻醫院
 醫學博士 江尻伊三郎
 平市田町 電話六九一番

◎開業
 内臓外科 整形外科 **内木外科醫院**
 醫學博士 内木宗八
 入院隨時
 平市大町二番地

食品店 眞砂屋
 電話五九二番
 に變りました

電話五九二番
サロシ
 平市銀座街
 電話五九一番